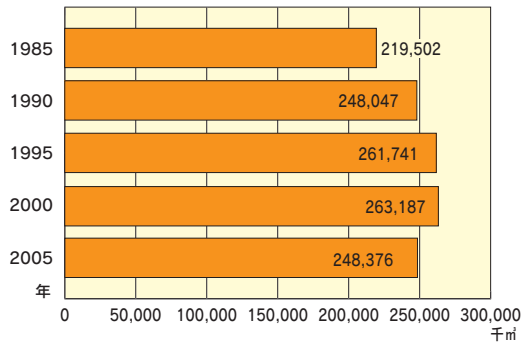


3 住みよいくらしをささえる

(1) くらしをささえる水

水は、毎日いろいろなところで使われています。人口が増えるにつれて、県内の給水量は年々増えてきましたが、最近の水を大切に

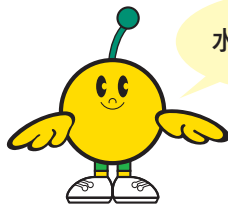
●給水量のうつりかわり



大切にする意識が高まり増加は止まっています。

家庭や工場、田畑などでたくさん使われる水を確保するため、県内各地にダムがつくられています。

●おもなダムの位置



水を大切に

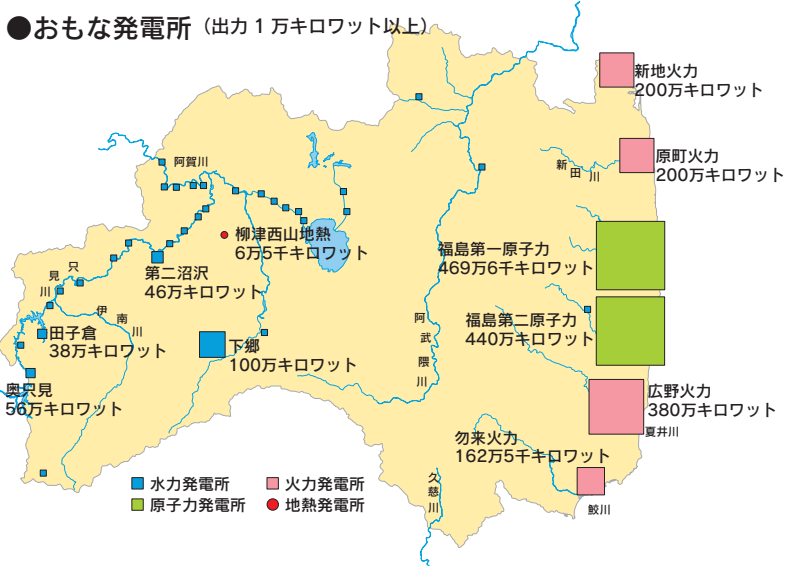


くらしをささえる電気と福島県

水とともにわたしたちのくらしをささえているものの1つに電気があります。電灯などの照明器具をはじめテレビや冷蔵庫、洗濯機など、わたしたちの身の回りには、電気がないと動かないものがたくさんあります。

福島県には、この電気をつくる発電所がたくさんあり、そこでつくられた電気は県内だけでなく東北や関東にも送られています。

浜通りには火力発電所や原子力発電所が、会津の只見川沿いには水力発電所が何カ所もあります。また、柳津町には地中の熱を利用した地熱発電所もあり、また、最近では太陽光や風力など化石燃料に頼らない自然エネルギーを利用した発電が行われるようになってきています。



水力発電所 (只見町)



火力発電所 (新地町)



原子力発電所 (大熊町・双葉町)



地熱発電所 (柳津町)